

令和6年度ボランティア活動助成 第4回助成金配分委員会

令和6年12月6日(金) 10:00~12:00

ぷらざこむ1 会議室24にて

1. 開会

2. 報告事項

(1) 令和6年度助成金配分状況 について

* チャレンジ助成…4グループ

	予算額	配分額	予算残	G数
グループ 基本助成	2,420,000	1,778,000	642,000	67
活動活性費助成	2,020,000	1,839,700	19,800	25
チャレンジ助成		160,500		4
スタートアップ 助成	150,000	180,000	△30,000	6
合計	4,590,000	3,958,200	631,800	102

● チャレンジ助成 4グループ ※10月末締切分

① トーキーコーヒー未成ダイジー

通常活動=学校に行きづらい子どもたちの居場所づくり活動

チャレンジ内容=講演会を実施

② もはらびと

通常活動=アート芸術活動

チャレンジ内容=新特産品の宝塚人形を作る

③ ボランティア親子会エルフ

通常活動=親子会の開催

チャレンジ内容=障害者との交流・不登校児の企画参加

④ 宝塚エコネット

通常活動=環境保全活動

チャレンジ内容=機器の購入により、活動時間の延長・安全等を図る

◇ チャレンジ助成について

「チャレンジ」助成の定義・視点について

- ・ スタート・アップの申請件数が予想以上である。新規ボランティアグループ登録も増えており良い傾向。

(2) 令和6年度ボランティア活動助成報告書について【別紙①】

① 記入例の記載

- ・ 様式作成にあたっては、記入することで「考えるきっかけづくり」「地域活動を意識する」等になるように様式を作成した。
- ・ 記入するうちにレベルアップにもつながる。収支書内の記入例も増やして欲しい。
ただ記入には相応の時間とレベルが要求されるので、助成金額に応じて様式の記入内容に差を付けても良いかもしれない。
- ・ 各団体さんも記入漏れ、また記入について悩むことが多いようなので、少しでも参考になれば良いと考える。

3. 協議事項

(1) 令和6年度ボランティア活動助成金報告会について【別紙②・③】

①内容・タイムスケジュール案・今回は1グループの発表

「エシカルな未来へバンビーノ」

不要になったリユース品を無料でゆずりあう場所作り・クリーン活動、等

- ・配席は「くじ引き」の方が、今まで関わりの無かったグループとの意外な交流ができて良かった。同じ団体からの複数参加の場合は、席を分ける方が交流が広がる。情報保障の必要な方々には、配席の配慮が必要。手話通訳・要約筆記・ループ席は設置する。また視覚・聴覚障害の都合上、必要な方については、別室・個室対応ができるようにする。

②当日アンケートの実施案

- ・アンケートについては、「グループごとの感想」・「その他」の記入欄を作って欲しい。

(2) チャレンジ助成について

* 「チャレンジ」助成の定義・視点について

- ・チャレンジの定義・考え方には色々と考えられる。チャレンジして終わりではなく、活性費を使って継続して欲しいという思いもある。
- ・チャレンジの成否（チャレンジしてもできなかった）に関わらず、チャレンジすることを後押しする助成することがあっても良いのではないか？

(3) 令和7年度助成金申請について【別紙④】

①助成金申込書・活動活性費助成の記入例

- ・支出書類を記入するにあたって、どの科目に記載すればよいか分からない「仕分け」について悩むことがある。
- ・項目・仕分けに迷う際は、zukavoにご相談下さいと、記載します。
- ・実績報告書（様式1号-1）の「上手くいったこと」…、について、記入の仕方が分からない。
- ・今年度を振り返っての総評（気づいたこと、印象に残った取り組み等）、次年度に向けての課題・抱負を記載できるように様式を変更する。

(4) 助成金制度の枠組みの見直しについて（令和8年度に向けて）【別紙⑤】

- ・まずは「変える必要があるのか？」を含めて考える必要がある。議論の末「変えない」という結果を含めての話合いであれば、丸1年くらいはかかることになる。
- ・「アンケート」で「助成の枠組みを変更」「金額を変更」「その他」を聞いてみる必要がある。
- ・「枠組み全部」を含めての改善を目指す前提なのか？
- ・ワーキングチームのメンバーには「配分委員の過去の経験者」を入れてもらった方が良い。